

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	国語Ⅲ(0204)	
科目基礎情報							
科目番号		3E01		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		産業システム工学科電気情報工学コース		対象学年	3		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		①『弟子』（角川文庫） ②『漢文脈と近代日本』（角川ソフィア文庫） ③『常用漢字の標準演習』（東京書籍）					
担当教員		海野 かおり					
到達目標							
一般社会人程度の文章を読み、相当程度理解できるようになる。歴史的背景を理解しつつ近代の文学が現代にどのように生きているのか理解する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		一般社会人程度の文章を読み、相当程度主体的に理解できる。		一般社会人程度の文章を読み、相当程度理解できる。		一般社会人程度の文章を読み、相当程度理解できない。	
評価項目2		歴史的背景を理解しつつ近代の文学が現代にどのように生きているのか主体的に理解できる。		歴史的背景を理解しつつ近代の文学が現代にどのように生きているのか理解できる。		歴史的背景を理解しつつ近代の文学が現代にどのように生きているのか理解できない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1							
教育方法等							
概要		【開講学期】春学期週4時間 中島敦の『弟子』を読み、登場人物の心情を理解する。					
授業の進め方・方法		教科書を中心に明治期の小説を味わう。歴史的背景を理解して作品への理解を深める。作品の理解を通して、人間や社会について考えを深める。					
注意点		定期的に漢字テストを行う。宿題課題等の提出物は確実に提出すること辞書（電子辞書も可）を持参すること。配布したプリントは紛失しないようにファイルを準備すること。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 全編を通して読み、難解な語句の意味を調べ、作品の概要を理解する。		授業概要を理解できる 作品を全編通して読むことができる		
		2週	全編を通して読み、難解な語句の意味を調べ、作品の概要を理解する。		難解な語句を調べ、作品概要を把握することができる		
		3週	登場人物の心情を探る①。 漢字テスト①		場面ごとに、登場人物の心情を把握できる		
		4週	登場人物の心情を探る①。		場面ごとに、登場人物の心情を把握できる		
		5週	登場人物の心情を探る②。		場面ごとに、登場人物の心情を把握できる		
		6週	登場人物の心情を探る②。		場面ごとに、登場人物の心情を把握できる		
		7週	登場人物の心情を探る③。		場面ごとに、登場人物の心情を把握できる		
		8週	登場人物の心情を探る③。		場面ごとに、登場人物の心情を把握できる		
	2ndQ	9週	登場人物の心情を探る④。 漢字テスト②		場面ごとに、登場人物の心情を把握できる		
		10週	登場人物の心情を探る④。		場面ごとに、登場人物の心情を把握できる		
		11週	発表の準備		作品を通して理解できたことの考えをまとめることができる		
		12週	発表の準備		作品を通して理解できたことの考えをまとめることができる		
		13週	まとめと発表 漢字テスト③		他者に自分の考えが伝わるように発表できる		
		14週	まとめと発表		他者に自分の考えが伝わるように発表できる		
		15週	到達度試験				
		16週	答案返却とまとめ				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2		
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	2		
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3		
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2		
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2		
				社会生活で使われている故事成語・慣用語の意味や内容を説明できる。	2		
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2		

分野横断的能力	工学基礎	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	実験テーマの目的に沿って実験・測定結果の妥当性など実験データについて論理的な考察ができる。	2	
				実験ノートや実験レポートの記載方法に沿ってレポート作成を実践できる。	2	
				実験の考察などに必要な文献、参考資料などを収集できる。	2	
		技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	2	
				国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	2	
				知的財産の社会的意義や重要性の観点から、知的財産に関する基本的な事項を説明できる。	2	
				技術者を指す者として、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。	2	
				技術者を指す者として、平和の構築、異文化理解の推進、自然資源の維持、災害の防止などの課題に力を合わせて取り組んでいくことの重要性を認識している。	2	
		情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	2	
		グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	2	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	2	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	2	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	2	
	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	2	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	2	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	2	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	2	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	2	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	2	
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	2	
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	2	
				複数の情報を整理・構造化できる。	2	
				特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析のために効果的な図や表を用いることができる。	2	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	
	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	2	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	2	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	2	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	2	
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	2	
	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	2	
				公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	2	
				要求に適合したシステム、構成要素、工程等の設計に取り組むことができる。	2	
				課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。	2	

				提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければならないことを把握している。	2	
				経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性等に配慮して解決策を提案できる。	2	
評価割合						
	試験	課題提出等	漢字テスト	態度	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	60	30	10	0	0	100
基礎的能力	60	30	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0